

施設概要

従事者数	と畜	従事者数 643名(品質管理担当者数 54名(カット担当を含む。))	
(品質管理担当者数)	カット	従事者数 1,967名	
	清掃等	従事者数 164名	
シフト	と畜	2シフト/日	
(時間帯)	カット	2シフト/日	
	清掃等	1シフト/日	
操業日		5日/週	
種類	去勢牛	有り	
	未經産牛	有り	
	経産牛	無し	
輸入牛の搬入	無 ☒ 有 ☐ カナダ・2005年 頭/年 (うち日本向け 0頭(延べ頭数)) ・2006年 頭/年 (うち日本向け 0頭(延べ頭数))		
	無 ☒ 有 ☐ メキシコ・2005年 頭/年 (うち日本向け 0頭(延べ頭数))(ただし、と畜場直行牛の受入無し) ・2006年 頭/年 (うち日本向け 0頭(延べ頭数))(ただし、と畜場直行牛の受入無し)		
	無 ☐ 有 ☐ その他第3清浄国・2005年 頭/年(うち日本向け 頭(延べ頭数)) ・2006年 頭/年 (うち日本向け 頭(延べ頭数))		
他施設からの枝肉の搬入		無 ☒ 有 ☐	
平均生体重量		567kg	
平均枝肉重量		359kg	
枝肉冷却時間		48時間	
輸出製品の種類			
輸出プログラム以外の認定プログラム		☒ 有 ☐	
日本向け輸出プログラムの稼働体制		専用 月毎 日毎 ライン毎 ☒ フット制	
月齢判別方法(対日輸出実績)	出生記録 ☒ 無 ☐ 有 (2005年12月～2006年1月の延べ頭数 頭)		
	成熟度 ☒ 無 ☐ 有 ☐ (2005年12月15日～2006年1月20日の延べ頭数 頭)		
	☐ 格付官総数 7名(うち日本向けA40の証明資格のある者 7名)		
受入農場(出生記録による月齢確認可能)		対日プログラム認定 ☐ 独自(PVP/QSA)	
検査官	食肉検査官	人数 32	
		配置 オンライン 26 オフライン 6	
	獣医官	人数 2	
FSISからのnon-compliance record 交付歴		2005年:BSE規制関係NR(3件、改善済み)、その他のNR(26件、改善済み) 2006年:BSE規制関係NR(0件)、その他のNR(19件、改善済み)	
神経(CNS)症状牛の頭数		2005年(0頭)、2006年(0頭)	
歩行困難牛の頭数(受入時)		2005年(0頭)、2006年(0頭)	
歩行困難牛の頭数(生体検査後)		2005年(10頭、うちBSE検査0頭)、2006年(5頭、うちBSE検査0頭)	
レンダリング(付属施設がある場合)	業務の形態(FDAのチェックシートにおける分類を転記、複数選択可)	① レンダラー ② プロテイン・ブレNDER ③ トランスポーター ④ その他()	
	取扱い品目*1	禁止原料	肉骨粉、ゲルボーン
		非禁止原料	ファンシータロー、イエローグリース、低質油、血粉
	原料の入手先*2		施設内バックカー
	製品の販売先		商社、飼料会社等
	輸送方法	原料*2	
		製品	貨車及び車両
	交差汚染対策*3	製造設備	各製品ごとに製造～出荷ラインは専用化
		輸送容器	貨車及び車両を検査・クリーニング
	FDA等の査察	査察回数	☐ 2005年 6月に実施、 ☐ 2006年 回
結果		☐ 2005年 違反歴無し ☐ 2006年	

注:米側とのミーティングにおいて、施設が特定できる情報(名称、所在地、施設番号、責任者名等)は非公表との要請があった。

施設概要

従事者数	と畜	従事者数 700名(品質管理担当者数 17名)
(品質管理担当者数)	カット	従事者数 1,300名(品質管理担当者数 39名)
	清掃等	従事者数 130名
シフト (時間帯)	と畜	2シフト/日(6:30~15:00, 15:50~00:00)
	カット	2シフト/日(6:30~14:30, 15:15~23:45)
	清掃等	1シフト/日(00:00~6:00)
操業日		5~6日/週
種類	去勢牛	有り
	未経産牛	有り
	経産牛	無し
輸入牛の搬入		無 ☒ 有 ☐ カナダ・2005年 頭/年 (うち日本向け 頭(延べ頭数)) ・2006年 頭/年 (うち日本向け 頭(延べ頭数)) 2005年12月~2006年1月645頭(日本向け0頭)
		無 ☐ 有 ☒ メキシコ・2005年 頭/年(うち日本向け 頭(延べ頭数)) ・2006年 頭/年 (うち日本向け 頭(延べ頭数))
		無 ☐ 有 ☒ その他第3清浄国・2005年 頭/年(うち日本向け 頭(延べ頭数)) ・2006年 頭/年 (うち日本向け 頭(延べ頭数))
他施設からの枝肉の搬入		無 ☐ 有 ☒
平均生体重量		567kg
平均枝肉重量		356kg
枝肉冷却時間		36時間
輸出製品の種類		ボックスビーフ、皮、内臓
輸出プログラム以外の認定プログラム		無 有
日本向け輸出プログラムの稼働体制		専用 月毎 日毎 ライン毎 ☒ シフト制
月齢判別方法(対日輸出実績)		出生記録 無 ☐ 有 ☒ (2005年12月~2006年1月の延べ頭数 154頭)
		成熟度 無 ☐ 有 ☒ (2005年12月15日~2006年1月20日の延べ頭数 7176頭)
		☐ 格付官総数 7名(うち日本向けA40の証明資格のある者 7名)
受入農場 (出生記録による月齢確認可能)		対日プログラム認定 ☒ 独自(PVP/QSA)
検査官	食肉検査官	人数 30
		配置 オンライン 26 オフライン 4
	獣医官	人数 4
FSISからのnon-compliance record 交付歴		2005年:BSE規制関係NR(0件)、その他のNR(45件、改善済み) 2006年:BSE規制関係NR(0件)、その他のNR(21件、改善済み)
神経(CNS)症状牛の頭数		2005年(1頭、うちBSE検査頭数 1頭)、2006年(1頭、うちBSE検査頭数 1頭)
歩行困難牛の頭数(受入時)		2005年(3頭、うちBSE検査頭数 3頭)、2006年(2頭、うちBSE検査頭数 2頭)
歩行困難牛の頭数(生体検査後)		2005年(5頭、うちBSE検査頭数 5頭)、2006年(6頭、うちBSE検査頭数 6頭)
レンダリング(付属施設がある場合)	業務の形態(FDAのチェックシートにおける分類を転記、複数選択可)	① レンダー ② プロテイン・レンダー ③ トランスポーター ④ その他()
	取扱い品目*1	禁止原料 肉骨粉
		非禁止原料 血液、ゲルボーン、タロー
	原料の入手先*2	N/A
	製品の販売先	ペットフード工場、飼料工場
	輸送方法	原料*2 N/A
		製品 鉄道、トラック
	交差汚染対策*3	製造設備 すべてのラインは分別されている。
		輸送容器 記載され文書化された清掃方法
	FDA等の査察	査察回数 ☐ 2005年 回、 ☐ 2006年 回 少なくとも年1回
		結果 ☐ 2005年 (合格) ☐ 2006年

注:米側とのミーティングにおいて、施設が特定できる情報(名称、所在地、施設番号、責任者名等)は非公表との要請があった。

施設概要

従事者数	と畜	従事者数 680名(品質管理担当者数 28名)
(品質管理担当者数)	カット	従事者数 1,300名(品質管理担当者数 92名)
	清掃等	従事者数 80名(品質管理担当者数 1名)
シフト	と畜	2シフト/日(6:00-23:30)
(時間帯)	カット	2シフト/日(6:00-23:30)
	清掃等	1シフト/日(0:00-5:30)
操業日		6日/週
種類	去勢牛	有り
	未経産牛	有り
	経産牛	無し
輸入牛の搬入	☒ 有 ☐ カナダ・2005年 頭/年(うち日本向け 頭(延べ頭数)) 2006年 頭/年(うち日本向け 頭(延べ頭数))	
	☒ 有 ☐ メキシコ・2005年 頭/年(うち日本向け 頭(延べ頭数)) 2006年 頭/年(うち日本向け 頭(延べ頭数))	
	☒ 有 ☐ その他第3清浄国・2005年 頭/年(うち日本向け 頭(延べ頭数)) 2006年 頭/年(うち日本向け 頭(延べ頭数))	
他施設からの枝肉の搬入	☒ 有	
平均生体重量	585kg	
平均枝肉重量	383kg	
枝肉冷却時間	36~48時間	
輸出品の種類	赤身肉	
輸出プログラム以外の認定プログラム	☒ 有	
日本向け輸出プログラムの稼働体制	専用 月毎 日毎 ライン毎 ☒ フット制	
月齢判別方法(対日輸出実績)	出生記録 ☒ 有 (2005年12月~2006年1月の延べ頭数 頭)	
	成熟度 ☒ 有 ☐ (2005年12月~2006年1月の延べ頭数 20690頭、と畜頭数に占める割合12%)	
	☐ 格付官総数 7名(うち日本向けA40の証明資格のある者 3名)	
受入農場(出生記録による月齢確認可能)	対日プログラム認定 独自(PVP/QSA)	
検査官	食肉検査官	人数 34
		配置 オンライン 26 オフライン 8
	獣医官	人数 2
FSISからのnon-compliance record 交付歴		2005年:BSE規制関係NR(0件)、その他のNR(34件、改善済み) 2006年:BSE規制関係NR(0件)、その他のNR(15件、改善済み)
神経(CNS)症状牛の頭数		2005年(4頭、うちBSE検査頭数 4頭)、2006年(1頭、うちBSE検査頭数 1頭)
歩行困難牛の頭数(受入時)		2005年(30頭、うちBSE検査頭数 30頭)、2006年(21頭、うちBSE検査頭数 21頭)
歩行困難牛の頭数(生体検査後)		2005年(1頭、うちBSE検査頭数 1頭)、2006年(0頭、うちBSE検査頭数 0頭)
レンダリング(付属施設がある場合)	業務の形態(FDAのチェックシートにおける分類を転記、複数選択可)	
	1 レンダー 2 プロテイン・ブレNDER 3 トランスポーター 4 その他()	
	取扱い品目*1	禁止原料 肉骨粉
		非禁止原料 油脂、冷蔵血液
	原料の入手先*2 施設内/バック	
	製品の販売先 ペットフード工場、飼料工場等	
	輸送方法	原料*2
		製品 貨車及び車両
	交差汚染対策*3	製造設備 グレードチェンジ
		輸送容器 貨車及び車両を検査・クリーニング
	FDA等の査察	査察回数 ☐ 2005年 回、 ☐ 2006年 回 (年1回)
		結果 ☐ 2005年 違反無し ☐ 2006年 違反無し

注:米側とのミーティングにおいて、施設が特定できる情報(名称、所在地、施設番号、責任者名等)は非公表との要請があった。

施設概要

従事者数	と畜	従事者数 150名	
(品質管理担当者数)	カット	従事者数 325名	
	清掃等	従事者数 43名	
シフト (時間帯)	と畜	1シフト/日(6:30開始)	
	カット	1シフト/日(6:30開始)	
	清掃等	1シフト/日(4:00開始)	
操業日		6日/週	
種類	去勢牛	60%	
	未經産牛	40%	
	経産牛	0%	
輸入牛の搬入	搬 有 ☐ カナダ・2005年	頭/年(うち日本向け	頭(延べ頭数))
		・2006年	頭/年(うち日本向け 頭(延べ頭数))
	搬 有 ☐ メキシコ・2005年	頭/年(うち日本向け	頭(延べ頭数))
		・2006年	頭/年(うち日本向け 頭(延べ頭数))
	搬 有 ☐ その他第3清浄国・2005年	頭/年(うち日本向け	頭(延べ頭数))
		・2006年	頭/年(うち日本向け 頭(延べ頭数))
他施設からの枝肉の搬入	搬 有 ☐		
平均生体重量		607kg	
平均枝肉重量		387kg	
枝肉冷却時間		48時間	
輸出製品の種類		骨有り、骨無し及び内臓	
輸出プログラム以外の認定プログラム		無 ☒ 有	
日本向け輸出プログラムの稼働体制		専用 月毎 ☒ 日毎 ライン毎 シフト制	
月齢判別方法(対日輸出実績)	出生記録 無 ☒ 有	(2005年12月～2006年1月の延べ頭数452 頭)	
	成熟度 無 ☒ 有 ☐	(2005年12月15日～2006年1月20日の延べ頭数 5560頭)	
		口格付官総数 3名(うち日本向けA40の証明資格のある者 1名)	
受入農場(出生記録による月齢確認可能)		☒ 対日プログラム認定 独自(PVP/QSA)	
検査官	食肉検査官	人数	7
		配置	オンライン 6 オフライン 1
	獣医官	人数	1
FSISからのnon-compliance record 交付歴		2005年:BSE規制関係NR(1件 改善済み)、その他のNR(16件、改善済み) 2006年:BSE規制関係NR(0件)、その他のNR(3件、改善済み)	
神経(CNS)症状牛の頭数		2005年(0頭、うちBSE検査 0頭)、2006年(0頭、うちBSE検査 0頭)	
歩行困難牛の頭数(受入時)		2005年(2頭、うちBSE検査 2頭)、2006年(0頭、うちBSE検査 0頭)	
歩行困難牛の頭数(生体検査後)		2005年(2頭、うちBSE検査 2頭)、2006年(0頭、うちBSE検査 0頭)	
レンダリング(付属施設がある場合)	業務の形態(FDAのチェックシートにおける分類を転記、複数選択可)		1 レンダラー 2 プロテイン・ブレンダー 3 トランスポーター 4 その他()
	取扱品目*1	禁止原料	
		非禁止原料	
	原料の入手先*2		
	製品の販売先		
	輸送方法	原料*2	
		製品	
	交差汚染対策*3	製造設備	
		輸送容器	
	FDA等の査察	査察回数	☐ 2005年 回 ☐ 2006年 回
結果		☐ 2005年 ☐ 2006年	

注:米側とのミーティングにおいて、施設が特定できる情報(名称、所在地、施設番号、責任者名等)は非公表との要請があった。

施設概要

従事者数	と畜	従事者数 500名(品質管理担当者数 9名)
(品質管理担当者数)	カット	従事者数 1900名(品質管理担当者数 34名)
	清掃等	従事者数 80名(品質管理担当者数 0名)
シフト	と畜	2シフト/日 Aシフト(5:45-14:30) Bシフト(14:45-23:06)
(時間帯)	カット	2シフト/日 Aシフト(5:45-14:11) Bシフト(15:00-23:26)
	清掃等	0:00-5:00
操業日		現在 週6日 平均週5日
種類	去勢牛	有り
	未經産牛	有り
	経産牛	無し
輸入牛の搬入		無 ☒ 有 ☐ カナダ・2005年 134頭/年 (うち日本向け 0頭(延べ頭数)) ・2006年 2,949 頭/年 (うち日本向け 0頭(延べ頭数))
		無 ☒ 有 ☐ メキシコ・2005年 0 頭/年 (うち日本向け 0頭(延べ頭数)) ・2006年 5,044頭/年 (うち日本向け 0頭(延べ頭数))(ただし、と畜場直行牛の受入れ無し)
		無 ☐ 有 ☒ その他第3清浄国・2005年 頭/年(うち日本向け 頭(延べ頭数)) ・2006年 頭/年 (うち日本向け 頭(延べ頭数))
他施設からの枝肉の搬入		無 ☒ 有 ☐
平均生体重量		540kg
平均枝肉重量		342kg
枝肉冷却時間		12-24時間
輸出製品の種類		牛肉、内臓
輸出プログラム以外の認定プログラム		無 ☒ 有 ☐
日本向け輸出プログラムの稼働体制		専用 月毎 日毎 ライン毎 シフト制
月齢判別方法(対日輸出実績)		出生記録 無 ☒ 有 ☐ (2005年12月～2006年1月の延べ頭数 133頭)
		成熟度 無 ☒ 有 ☐ (2005年12月15日～2006年1月20日の延べ頭数 20000頭)
		☐ 格付官総数 4名(うち日本向けA40の証明資格のある者 4名)
受入農場(出生記録による月齢確認可能)		対日プログラム認定 ☒ 独自(PVP/QSA)
検査官	食肉検査官	人数 22
		配置 オンライン 18 オフライン 4
	獣医官	人数 2
FSISからのnon-compliance record 交付歴		2005年:BSE規制関係NR(3件、改善済み)、その他のNR(114件、改善済み) 2006年:BSE規制関係NR(0件)、その他のNR(28件、改善済み)
神経(CNS)症状牛の頭数		2005年(0頭、うちBSE検査頭数 0頭)、2006年(1頭、うちBSE検査頭数 1頭)
歩行困難牛の頭数(受入時)		2005年(54頭、うちBSE検査頭数 54頭)、2006年(7頭、うちBSE検査頭数 7頭)
歩行困難牛の頭数(生体検査後)		2005年(34頭、うちBSE検査頭数 34頭)、2006年(6頭、うちBSE検査頭数 6頭)
レンダリング(付属施設がある場合)	業務の形態(FDAのチェックシートにおける分類を転記、複数選択可)	① レンダラー ② プロテイン・ブレンダー ③ トランスポーター ④ その他()
	取扱品目*1	禁止原料 肉骨粉、低タンパクミール、ゲルボーン
		非禁止原料 血粉、血小板、可食タンパクタロー
	原料の入手先*2	
	製品の販売先	
	輸送方法	原料*2
		製品 貨車及び車両
	交差汚染対策*3	製造設備 各製品ごとに製造～出荷ラインは専用化
		輸送容器 検査、文書へのサイン、記録を残す
	FDA等の査察	査察回数 ランダムな抜き打ち査察
		結果 違反歴無し

注:米側とのミーティングにおいて、施設が特定できる情報(名称、所在地、施設番号、責任者名等)は非公表との要請があった。

施設概要

従事者数	と畜	従事者数 700名 両シフト(品質管理担当者数 8名)
(品質管理担当者数)	カット	従事者数 1280名 両シフト(品質管理担当者数 44名)
	清掃等	従事者数 名 契約者 (品質管理担当者数 名)
シフト	と畜	2シフト/日 Aシフト(6:30～ :) Bシフト(15:30～ :)
(時間帯)	カット	2シフト/日 Aシフト(6:00～ :) Bシフト(15:00～ :)
	清掃等	シフト/日 契約者 (12:30～5:00)
操業日		6日/週
種類	去勢牛	有り
	未經産牛	有り
	経産牛	無し
輸入牛の搬入		無 ☒ 有 ☐ カナダ・2005年 958頭/年 (うち日本向け 0頭(延べ頭数)) ・2006年 17975頭/年 (うち日本向け 0頭(延べ頭数))
		無 ☒ 有 ☐ メキシコ・2005年 28600頭/年(うち日本向け 0頭(延べ頭数))(ただし、と畜場直行牛の受入れ無し) ・2006年 7700頭/年(うち日本向け 0頭(延べ頭数))(ただし、と畜場直行牛の受入れ無し)
		無 ☐ 有 ☐ その他第3清浄国・2005年 頭/年(うち日本向け 頭(延べ頭数)) ・2006年 頭/年 (うち日本向け 頭(延べ頭数))
他施設からの枝肉の搬入		☒ 有
平均生体重量		607.5kg
平均枝肉重量		337.5kg
枝肉冷却時間		24-32時間
輸出製品の種類		骨有り、骨無し、内臓
輸出プログラム以外の認定プログラム		無 ☒ 有
日本向け輸出プログラムの稼働体制		専用 月毎 ☒ 毎 ライン毎 ☒ フット制 ☐ グレード制
月齢判別方法(対日輸出実績)		出生記録 ☒ 有 (2005年12月～2006年1月の延べ頭数 頭)
		成熟度 ☒ 有 ☐ (2005年12月15日～2006年1月20日の延べ頭数 頭)
		☐ 格付官総数 6名(うち日本向けA40の証明資格のある者 6名)
受入農場(出生記録による月齢確認可能)		対日プログラム認定 独自(PVP/QSA)
検査官	食肉検査官	人数 32
		配置 オンライン 両シフトで28名 オフライン 各シフトで2名、消費者安全監督官2名
	獣医官	人数 3
FSISからのnon-compliance record 交付歴		2005年:BSE規制関係NR(8件、改善済み)、その他のNR(154件、改善済み) 2006年:BSE規制関係NR(1件、改善済み)、その他のNR(44件、改善済み)
神経(CNS)症状牛の頭数		2005年(1頭、うちBSE検査頭数 1頭)、2006年(0頭、うちBSE検査頭数 0頭)
歩行困難牛の頭数(受入時)		2005年(52頭、うちBSE検査頭数 52頭)、2006年(19頭、うちBSE検査頭数 19頭)
歩行困難牛の頭数(生体検査後)		2005年(9頭、うちBSE検査頭数 9頭)、2006年(3頭、うちBSE検査頭数 3頭)
レンダリング(付属施設がある場合)	業務の形態(FDAのチェックシートにおける分類を転記、複数選択可)	① レンダラー ② プロテイン・ブレンダー ③ トランスポーター ④ その他()
	取扱品目*1	禁止原料 50% 肉骨粉、蛋白、非食用タロー、浮揚タロー
		非禁止原料 食用タロー、骨ゼラチン、ビーフスープ、血漿
	原料の入手先*2	無し
	製品の販売先	
	輸送方法	原料*2
		製品 タンカー、貨車
	交差汚染対策*3	製造設備 可食及び不可食システムは施設内で分離されている
		輸送容器 一度不可食と決められた輸送車は、不可食物を運ぶ
	FDA等の査察	査察回数 ☐ 2005年 回、 ☐ 2006年 回 タンカー及びローラーは、荷物を積む前にUSDAによる調査を受ける
		結果 ☐ 2005年 問題無し ☐ 2006年 問題無し

注:米側とのミーティングにおいて、施設が特定できる情報(名称、所在地、施設番号、責任者名等)は非公表との要請があった。

施設概要

従事者数	と畜	従事者数 55名(品質管理担当者数 名)	
(品質管理担当者数)	カット	従事者数 75名(品質管理担当者数 名)	
	清掃等	従事者数 9名(品質管理担当者数 名)	
シフト	と畜	シフト/日 (6:30~17:30)	
(時間帯)	カット	シフト/日 (7:00~18:00)	
	清掃等	シフト/日 (18:00~6:00)	
操業日		6日/週	
種類	去勢牛	有り	
	未経産牛	有り	
	経産牛	有り	
輸入牛の搬入	☒ 有 ☐ カナダ・2005年 頭/年 (うち日本向け 頭(延べ頭数)) ・2006年 頭/年 (うち日本向け 頭(延べ頭数))		
	☒ 有 ☐ メキシコ・2005年 頭/年 (うち日本向け 頭(延べ頭数)) ・2006年 頭/年 (うち日本向け 頭(延べ頭数))		
	☒ 有 ☐ その他第3清浄国・2005年 頭/年(うち日本向け 頭(延べ頭数)) ・2006年 頭/年 (うち日本向け 頭(延べ頭数))		
他施設からの枝肉の搬入	☒ 有		
平均生体重量	585kg		
平均枝肉重量	360kg		
枝肉冷却時間	48時間		
輸出製品の種類			
輸出プログラム以外の認定プログラム	☒ 有		
日本向け輸出プログラムの稼働体制	専用 月毎 日毎 ライン毎 ☒ シフト制		
月齢判別方法(対日輸出実績)	出生記録 無 ☐ 有 ☐ (2005年12月~2006年1月の延べ頭数 416頭)		
	成熟度 ☒ 有 ☐ (2005年12月15日~2006年1月20日の延べ頭数 頭)		
	☐ 格付官総数 名(うち日本向けA40の証明資格のある者 名)		
受入農場(出生記録による月齢確認可能)	☒ 対日プログラム認定 独自(PVP/QSA)		
検査官	食肉検査官	人数	4
		配置	オンライン 4 オフライン
	獣医官	人数	1
FSISからのnon-compliance record 交付歴		2005年:BSE規制関係NR(3件、改善済み)、その他のNR(83件、改善済み) 2006年:BSE規制関係NR(1件、改善済み)、その他のNR(32件、改善済み)	
神経(CNS)症状牛の頭数		2005年(0頭)、2006年(0頭)	
歩行困難牛の頭数(受入時)		2005年(3頭(うちBSE検査(3頭))、2006年(0頭)	
歩行困難牛の頭数(生体検査後)		2005年(2頭(うちBSE検査(2頭))、2006年(1頭(うちBSE検査(1頭))	
レンダリング(付属施設がある場合)	業務の形態(FDAのチェックシートにおける分類を転記、複数選択可)		1 レンダラー 2 プロテイン・ブレNDER 3 トランスポーター 4 その他()
	取扱い品目*1	禁止原料	
		非禁止原料	
	原料の入手先*2		
	製品の販売先		
	輸送方法	原料*2	
		製品	
	交差汚染対策*3	製造設備	
		輸送容器	
	FDA等の査察	査察回数	☐ 2005年 回 ☐ 2006年 回
結果		☐ 2005年 ☐ 2006年	

注:米側とのミーティングにおいて、施設が特定できる情報(名称、所在地、施設番号、責任者名等)は非公表との要請があった。

施設概要

従事者数 (品質管理担当者数)	と畜 カット 清掃等	従事者数 205名(品質管理担当者数 3名) 従事者数 名(品質管理担当者数 名) 従事者数 名(品質管理担当者数 名)
シフト (時間帯)	と畜 カット 清掃等	1シフト/日 (6:00~14:30) シフト/日 N/A シフト/日 (: ~ :)
操業日		5日/週
種類	去勢牛 未経産牛 経産牛	有り 有り 無し
輸入牛の搬入		☒ 有 ☐ カナダ・2005年 頭/年 (うち日本向け 頭(延べ頭数)) ・2006年 頭/年 (うち日本向け 頭(延べ頭数)) ☐ 有 ☐ メキシコ・2005年 頭/年 (うち日本向け 頭(延べ頭数)) ・2006年 頭/年 (うち日本向け 頭(延べ頭数)) ☐ 有 ☐ その他第3清浄国・2005年 頭/年(うち日本向け 頭(延べ頭数)) ・2006年 頭/年 (うち日本向け 頭(延べ頭数))
他施設からの枝肉の搬入		☒ 有
平均生体重量		563kg
平均枝肉重量		337kg
枝肉冷却時間		24時間
輸出製品の種類		
輸出プログラム以外の認定プログラム		☒ 有
日本向け輸出プログラムの稼働体制		専用 月毎 ☐ 日毎 ライン毎 シフト制
月齢判別方法(対日輸出実績)		出生記録 ☒ 有 (2005年12月~2006年1月の延べ頭数 頭) 成熟度 ☒ 有 ☐ (2005年12月15日~2006年1月20日の延べ頭数 頭) ☐ 格付官総数 3名(うち日本向けA40の証明資格のある者 3名)
受入農場 (出生記録による月齢確認可能)		対日プログラム認定 独自(PVP/QSA)
検査官	食肉検査官 獣医官	人数 12 配置 オンライン 10 オフライン 2 人数 2
FSISからのnon-compliance record 交付歴		2005年:BSE規制関係NR(0件)、その他のNR(4件、改善済み) 2006年:BSE規制関係NR(0件)、その他のNR(1件、改善済み)
神経(CNS)症状牛の頭数		2005年(頭数0)、2006年(頭数0)
歩行困難牛の頭数(受入時)		2005年(頭数10、うちBSE検査頭数10)、2006年(頭数6、うちBSE検査頭数6)
歩行困難牛の頭数(生体検査後)		2005年(頭数2、うちBSE検査頭数2)、2006年(頭数2、うちBSE検査頭数2)
レンダリング(付属施設がある場合)	業務の形態(FDAのチェックシートにおける分類を転記、複数選択可) 取扱品目*1 原料の入手先*2 製品の販売先 輸送方法 交差汚染対策*3 FDA等の査察	① レンダー ② プロテイン・ブレンダー ③ トランスポーター ④ その他() 反芻動物の肉骨粉 technical タロー、不可食タロー 血液 同系列会社 血液 乾燥血粉 タンカーで輸送 製造設備 輸送容器 査察回数 ☐ 2005年 回、 ☐ 2006年 回 結果 合格

注:米側とのミーティングにおいて、施設が特定できる情報(名称、所在地、施設番号、責任者名等)は非公表との要請があった。

施設概要

従事者数	と畜	従事者数 240名(品質管理担当者数 4名)
(品質管理担当者数)	カット	従事者数 第1シフト 400名 第2シフト 130名 (品質管理担当者数 13名)
	清掃等	従事者数 40名(品質管理担当者数 1名)
シフト	と畜	1シフト/日 (6:00~17:00)
(時間帯)	カット	2シフト/日 第1シフト (4:30~14:00) 第2シフト (14:00~23:00)
	清掃等	シフト/日 (18:00~4:30)
操業日		5日/週
種類	去勢牛	有り
	未經産牛	有り
	経産牛	有り
輸入牛の搬入		☒ 有 ☐ カナダ・2005年 3293頭/年 (うち日本向け 0頭(延べ頭数)) ・2006年 1204頭/年 (うち日本向け 0頭(延べ頭数)) ☐ 有 ☐ メキシコ・2005年 頭/年 (うち日本向け 頭(延べ頭数)) ・2006年 頭/年 (うち日本向け 頭(延べ頭数)) ☒ 有 ☐ その他第3清浄国・2005年 頭/年(うち日本向け 頭(延べ頭数)) ・2006年 頭/年 (うち日本向け 頭(延べ頭数))
他施設からの枝肉の搬入		☒ 有
平均生体重量		771kg
平均枝肉重量		386kg
枝肉冷却時間		24時間
輸出製品の種類		牛カット肉
輸出プログラム以外の認定プログラム		無 ☒
日本向け輸出プログラムの稼働体制		専用 月毎 日毎 ライン毎 ☒ シフト制
月齢判別方法(対日輸出実績)		出生記録 ☒ 有 (2005年12月~2006年1月の延べ頭数 頭) 成熟度 無 ☒ 有 ☐ (2005年12月15日~2006年1月20日の延べ頭数 457 頭) ☐ 格付官総数1名(うち日本向けA40の証明資格のある者 1名)
受入農場(出生記録による月齢確認可能)		対日プログラム認定 独自(PVP/QSA)
検査官	食肉検査官	人数 10
		配置 オンライン 8 オフライン 2
	獣医官	人数 2
FSISからのnon-compliance record 交付歴		2005年:BSE規制関係NR(0件)、その他のNR(51件、改善済み) 2006年:BSE規制関係NR(0件)、その他のNR(20件、改善済み)
神経(CNS)症状牛の頭数		2005年(頭数 3、うちBSE検査頭数 3頭)、2006年(頭数 2、うちBSE検査頭数 2頭)
歩行困難牛の頭数(受入時)		2005年(頭数 455頭)、2006年(頭数340頭)
歩行困難牛の頭数(生体検査後)		該当無し
業務の形態(FDAのチェックシートにおける分類を転記、複数選択可)		1 レンダー 2 プロテイン・ブレンダー 3 トランスポーター 4 その他()
取扱い品目*1	禁止原料	
	非禁止原料	
原料の入手先*2		
製品の販売先		
輸送方法	原料*2	
	製品	
交差汚染対策*3	製造設備	
	輸送容器	
FDA等の査察	査察回数	☐ 2005年 回、 ☐ 2006年 回
	結果	☐ 2005年 ☐ 2006年

注:米穀とのミーティングにおいて、施設が特定できる情報(名称、所在地、施設番号、責任者名等)は非公表との要請があった。

施設概要

従事者数	と畜	従事者数 268 名(品質管理担当者数 名)
(品質管理担当者数)	カット	従事者数 610 名(品質管理担当者数 名)
	清掃等	従事者数 50 名
シフト	と畜	シフト/日 (6:00~14:30)
(時間帯)	カット	シフト/日 (15:00~23:30)
	清掃等	シフト/日 (23:30~ 5:00)
操業日		5日/週
種類	去勢牛	有り
	未経産牛	有り
	経産牛	有り
輸入牛の搬入	☒ 有 ☐ カナダ・2005年 頭/年(うち日本向け 頭(延べ頭数)) ・2006年 頭/年(うち日本向け 頭(延べ頭数))	
	☒ 有 ☐ メキシコ・2005年 頭/年(うち日本向け 頭(延べ頭数)) ・2006年 頭/年(うち日本向け 頭(延べ頭数))	
	☒ 有 ☐ その他第3清浄国・2005年 頭/年(うち日本向け 頭(延べ頭数)) ・2006年 頭/年(うち日本向け 頭(延べ頭数))	
他施設からの枝肉の搬入	☒ 有	
平均生体重量	663kg	
平均枝肉重量	386kg	
枝肉冷却時間	24~48時間	
輸出製品の種類	内臓、sub-primals	
輸出プログラム以外の認定プログラム	無 ☒ 有	
日本向け輸出プログラムの稼働体制	専用 月毎 日毎 ライン毎 ☒ シフト制(第1シフト)	
月齢判別方法(対日輸出実績)	出生記録 ☒ 有 (2005年12月~2006年1月の延べ頭数 頭)	
	成熟度 無 ☒ 有 ☐ (2005年12月15日~2006年1月20日の延べ頭数 2000 頭)	
	☐ 格付官総数 2名(うち日本向けA40の証明資格のある者 2名)	
受入農場(出生記録による月齢確認可能)	対日プログラム認定 独自(PVP/QSA)	
検査官	食肉検査官	人数 12
		配置 オンライン 10 オフライン 2
	獣医官	人数 2
FSISからのnon-compliance record 交付歴		2005年:BSE規制関係NR(0件)、その他のNR(47件、改善済み) 2006年:BSE規制関係NR(1件、改善済み)、その他のNR(25件、改善済み)
神経(CNS)症状牛の頭数		2005年-、2006年-
歩行困難牛の頭数(受入時)		2005年-、2006年-
歩行困難牛の頭数(生体検査後)		2005年(345頭 BSE検査頭数 345頭)、2006年(193頭 BSE検査頭数 193頭)
レンダリング(付属施設がある場合)	業務の形態(FDAのチェックシートにおける分類を転記、複数選択可) ① レンダー ② プロテイン・ブレンダー ③ トランスポーター ④ その他()	
	取扱品目*1	禁止原料
		非禁止原料 骨、脂肪、肉
	原料の入手先*2 自施設からのみ	
	製品の販売先	
	輸送方法	原料*2
		製品 レールカー、トラクター・トレーラー
	交差汚染対策*3	製造設備 洗浄、消毒
		輸送容器
	FDA等の査察	査察回数 毎年
		結果 合格

注:米側とのミーティングにおいて、施設が特定できる情報(名称、所在地、施設番号、責任者名等)は非公表との要請があった。

施設概要

従事者数	と畜	従事者数 282名(品質管理担当者数7名)	
(品質管理担当者数)	カット	従事者数 375 名(品質管理担当者数 22名)	
	清掃等	従事者数45名	
シフト	と畜	シフト/日(7: 30~16:00)	
(時間帯)	カット	シフト/日(6:30~15: 00)	
	清掃等	N/ A	
操業日		5日/週	
種類	去勢牛	有り	
	未経産牛	有り	
	経産牛	有り	
輸入牛の搬入		無 ☒ 有 ☐ カナダ・2005年 32頭/年 (うち日本向け 頭(延べ頭数)) ・2006年 409頭/年 (うち日本向け 頭(延べ頭数))	
		無 ☐ 有 ☐ メキシコ・2005年 頭/年 (うち日本向け 頭(延べ頭数)) ・2006年 頭/年 (うち日本向け 頭(延べ頭数))	
		無 ☐ 有 ☐ その他第3清浄国・2005年 頭/年(うち日本向け 頭(延べ頭数)) ・2006年 頭/年 (うち日本向け 頭(延べ頭数))	
他施設からの枝肉の搬入		☒ 有	
平均生体重量		649kg	
平均枝肉重量		339kg	
枝肉冷却時間		24~48時間	
輸出製品の種類		Sub-primal、内臓	
輸出プログラム以外の認定プログラム		☒ 有	
日本向け輸出プログラムの稼働体制		専用 月毎 日毎 ライン毎 ☒ フット制	
月齢判別方法(対日輸出実績)		出生記録 ☒ 有 (2005年12月~2006年1月の延べ頭数 頭)	
		成熟度 無 ☐ 有 ☐ (2005年12月15日~2006年1月20日の延べ頭数 4188 頭)	
		☐ 格付官総数1名(うち日本向けA40の証明資格のある者 1名)	
受入農場 (出生記録による月齢確認可能)		対日プログラム認定 独自(PVP/QSA)	
検査官	食肉検査官	人数 12	
		配置 オンライン 10 オフライン 2	
	獣医官	人数 2	
FSISからのnon-compliance record 交付歴		2005年: BSE規制関係NR(2件、改善状況:改善済み)、その他のNR(86件、改善済み) 2006年: BSE規制関係NR(1件、改善状況:改善済み)、その他のNR(21件、改善済み)	
神経(CNS)症状牛の頭数		2005年(N/A)、2006年(N/A)	
歩行困難牛の頭数(受入時)		2005年(N/A)、2006年(N/A)	
歩行困難牛の頭数(生体検査後)		2005年(N/A)、2006年(N/A)	
レンダリング(付属施設がある場合)	業務の形態(FDAのチェックシートにおける分類を転記、複数選択可)	1 レンダラー 2 プロテイン・ブレNDER 3 トランスポーター 4 その他()	
	取扱品目*1	禁止原料	
		非禁止原料	
	原料の入手先*2		
	製品の販売先		
	輸送方法	原料*2	
		製品	
	交差汚染対策*3	製造設備	
		輸送容器	
	FDA等の査察	査察回数	☐ 2005年 回、 ☐ 2006年 回
結果		☐ 2005年 ☐ 2006年	

注:米側とのミーティングにおいて、施設が特定できる情報(名称、所在地、施設番号、責任者名等)は非公表との要請があった。

施設概要

従事者数 (品質管理担当者数)	と畜 カット 清掃等	従事者数227名(品質管理担当者数5名) 従事者数466名(品質管理担当者数13名) N/A 清掃サービスと契約
シフト (時間帯)	と畜 カット 清掃等	6:30~ 6:00~ 18:00~
操業日		5日/週
種類	去勢牛 未經産牛 経産牛	有り 有り 有り
輸入牛の搬入		☐ 有 ☐ カナダ・2005年 19429頭/年 (うち日本向け 0頭(延べ頭数)) ・2006年 14877頭/年 (うち日本向け 0頭(延べ頭数)) ☒ 有 ☐ メキシコ・2005年 頭/年(うち日本向け 頭(延べ頭数)) ・2006年 頭/年 (うち日本向け 頭(延べ頭数)) ☒ 有 ☐ その他第3清浄国・2005年 頭/年(うち日本向け 頭(延べ頭数)) ・2006年 頭/年 (うち日本向け 頭(延べ頭数))
他施設からの枝肉の搬入		☒ 有
平均生体重量		601kg
平均枝肉重量		352kg
枝肉冷却時間		48時間
輸出製品の種類		
輸出プログラム以外の認定プログラム		無 ☒ 有
日本向け輸出プログラムの稼働体制		専用 月毎 日毎 ライン毎 ☒ フット制
月齢判別方法(対日輸出実績)		出生記録 ☒ 有 (2005年12月~2006年1月の延べ頭数 頭) 成熟度 無 ☒ 有 ☐ (2005年12月15日~2006年1月20日の延べ頭数 5715頭) ☐ 格付官総数 3名(うち日本向けA40の証明資格のある者 3名)
受入農場(出生記録による月齢確認可能)		対日プログラム認定 独自(PVP/QSA)
検査官	食肉検査官 獣医官	人数 7 配置 オンライン オフライン 人数 1
FSISからのnon-compliance record 交付歴		2005年:BSE規制関係NR(3件、改善済み)、その他のNR(73件、改善済み) 2006年:BSE規制関係NR(0件)、その他のNR(35件、改善済み)
神経(CNS)症状牛の頭数		2005年 -, 2006年 -
歩行困難牛の頭数(受入時)		2005年(BSE検査頭数439)、2006年(BSE検査頭数148)
歩行困難牛の頭数(生体検査後)		2005年 -, 2006年 -
レンダリング(付属施設がある場合)	業務の形態(FDAのチェックシートにおける分類を転記、複数選択可) 取扱品目*1 原料の入手先*2 製品の販売先 輸送方法 交差汚染対策*3 FDA等の査察	1 レンダー 2 プロテイン・ブレNDER 3 トランスポーター 4 その他() 禁止原料 非禁止原料 原料*2 製品 製造設備 輸送容器 査察回数 ☐ 2005年 回、 ☐ 2006年 回 結果 ☐ 2005年 ☐ 2006年

注:米側とのミーティングにおいて、施設が特定できる情報(名称、所在地、施設番号、責任者名等)は非公表との要請があった。

施設概要

従事者数	と畜	従事者数 550名 (品質管理担当者数 名)	
(品質管理担当者数)	カット	従事者数 1200名 (品質管理担当者数 名)	
	清掃等	従事者数 115名 (品質管理担当者数 名)	
シフト	と畜	2シフト/日 (: ~ :)	
(時間帯)	カット	シフト/日 (5:45~11:30)	
	清掃等	シフト/日 (12:00~5:00)	
操業日		5-6日/週	
種類	去勢牛	65%	
	未經産牛	35%	
	経産牛	0%	
輸入牛の搬入		無 ☒ 有 ☐ カナダ・2005年 頭/年 (うち日本向け 頭(延べ頭数)) ・2006年 頭/年 (うち日本向け 頭(延べ頭数))	
		☒ 有 ☐ メキシコ・2005年 頭/年 (うち日本向け 頭(延べ頭数)) ・2006年 頭/年 (うち日本向け 頭(延べ頭数))	
		☒ 有 ☐ その他第3清浄国・2005年 頭/年 (うち日本向け 頭(延べ頭数)) ・2006年 頭/年 (うち日本向け 頭(延べ頭数))	
他施設からの枝肉の搬入		無 ☒ 有 ☐	
平均生体重量		578kg	
平均枝肉重量		358kg	
枝肉冷却時間		48時間	
輸出製品の種類			
輸出プログラム以外の認定プログラム		無 ☒ 有 ☐	
日本向け輸出プログラムの稼働体制		専用 月毎 日毎 ライン毎 ☒ シフト制	
月齢判別方法(対日輸出実績)		出生記録 ☒ 有 ☐ (2005年12月~2006年1月の延べ頭数 頭)	
		成熟度 無 ☒ 有 ☐ (2005年12月15日~2006年1月20日の延べ頭数 頭) □格付官総数 5名(うち日本向けA40の証明資格のある者 4名)	
受入農場 (出生記録による月齢確認可能)		対日プログラム認定 独自(PVP/QSA)	
検査官	食肉検査官	人数 22	
		配置 オンライン オフライン	
	獣医官	人数 3	
FSISからのnon-compliance record 交付歴		2005年:BSE規制関係NR(0件)、その他のNR(122件、改善済み) 2006年:BSE規制関係NR(1件、改善済み)、その他のNR(49件、改善済み)	
神経(CNS)症状牛の頭数		2005年 -、2006年 -	
歩行困難牛の頭数(受入時)		2005年(頭数 38)、2006年(頭数19)	
歩行困難牛の頭数(生体検査後)		2005年 -、2006年 -	
レンダリング(付属施設がある場合)	業務の形態(FDAのチェックシートにおける分類を転記、複数選択可)		① レンダー 2 プロテイン・ブレンダー 3 トランスポーター 4 その他()
	取扱い品目*1	禁止原料	肉骨粉、ロープロテインミール、ゼラチン用骨
		非禁止原料	血粉、血漿、可食部、タロー
	原料の入手先*2		NA
	製品の販売先		
	輸送方法	原料*2	NA
		製品	トラック、鉄道
	交差汚染対策*3	製造設備	禁止及び免除物質は分けて運ぶ
		輸送容器	禁止及び除外物質を独立して積載
	FDA等の査察	査察回数	□2005年 回、□2006年 回 不定期の非通告立ち入り
結果		遵守	

注:米側とのミーティングにおいて、施設が特定できる情報(名称、所在地、施設番号、責任者名等)は非公表との要請があった。

施設概要

従事者数	と畜	従事者数 名(品質管理担当者数 名)	
(品質管理担当者数)	カット	従事者数 40名 (品質管理担当者数 3名)	
	清掃等	従事者数 2名(品質管理担当者数 名)	
シフト	と畜	シフト/日 (: ~ :)	
(時間帯)	カット	シフト/日 (6:00~14:30)	
	清掃等	シフト/日 (14:30~23:00)	
操業日		5日/週	
種類	去勢牛		
	未經産牛		
	経産牛		
輸入牛の搬入	☒ 有 ☐ カナダ・2005年 頭/年 (うち日本向け 頭(延べ頭数)) ・2006年 頭/年(うち日本向け 頭(延べ頭数))		
	☒ 有 ☐ メキシコ・2005年 頭/年 (うち日本向け 頭(延べ頭数)) ・2006年 頭/年 (うち日本向け 頭(延べ頭数))		
	☒ 有 ☐ その他第3清浄国・2005年 頭/年(うち日本向け 頭(延べ頭数)) ・2006年 頭/年 (うち日本向け 頭(延べ頭数))		
他施設からの枝肉の搬入	☒ 有		
平均生体重量			
平均枝肉重量			
枝肉冷却時間			
輸出製品の種類	各国向けEVプログラム		
輸出プログラム以外の認定プログラム	☒ 有		
日本向け輸出プログラムの稼働体制	専用 月毎 ☒ 毎 ライン毎 シフト制		
月齢判別方法(対日輸出実績)	出生記録 無 有 (2005年12月~2006年1月の延べ頭数 頭)		
	成熟度 無 有 ☐ (2005年12月15日~2006年1月20日の延べ頭数 頭)		
	☐ 格付官総数 名(うち日本向けA40の証明資格のある者 名)		
受入農場 (出生記録による月齢確認可能)	対日プログラム認定 独自(PVP/QSA)		
検査官	食肉検査官	人数	1
		配置	オンライン 0 オフライン 1
	獣医官	人数	1
FSISからのnon-compliance record 交付歴	2005年:BSE規制関係NR(無し)、その他のNR(2005年及び2006年で11件、改善済み) 2006年:BSE規制関係NR(無し)		
神経(CNS)症状牛の頭数			
歩行困難牛の頭数(受入時)			
歩行困難牛の頭数(生体検査後)			
レンダリング(付属施設がある場合)	業務の形態(FDAのチェックシートにおける分類を転記、複数選択可)		1 レンダー 2 プロテイン・ブレンダー 3 トランスポーター 4 その他()
	取扱い品目*1	禁止原料	
		非禁止原料	
	原料の入手先*2		
	製品の販売先		
	輸送方法	原料*2	
		製品	
	交差汚染対策*3	製造設備	
		輸送容器	
	FDA等の査察	査察回数	☐ 2005年 回、 ☐ 2006年 回
結果			

注:米側とのミーティングにおいて、施設が特定できる情報(名称、所在地、施設番号、責任者名等)は非公表との要請があった。

施設概要

従事者数	と畜	従事者数 127名(品質管理担当者数 名)	
(品質管理担当者数)	カット	従事者数 288名(品質管理担当者数 名)	
	清掃等	従事者数 31名	
シフト	と畜	1 シフト/日(6:00am ~ 3:30pm)	
(時間帯)	カット	1 シフト/日(6:30am ~ 3:00pm)	
	清掃等	1 シフト/日(9:00pm ~ 5:00pm)	
操業日		6日/週	
種類	去勢牛	60%	
	未経産牛	40%	
	経産牛	0%	
輸入牛の搬入	無	☒ カナダ・2005年 406頭/年(うち日本向け 頭(延べ頭数))	
		・2006年 2677頭/年(うち日本向け 頭(延べ頭数))	
	☒ 有	☐ メキシコ・2005年 頭/年(うち日本向け 頭(延べ頭数))	
		・2006年 頭/年(うち日本向け 頭(延べ頭数))	
	☒ 有	☐ その他第3清浄国・2005年 頭/年(うち日本向け 頭(延べ頭数))	
		・2006年 頭/年(うち日本向け 頭(延べ頭数))	
他施設からの枝肉の搬入		☒ 有	
平均生体重量		595kg	
平均枝肉重量		373kg	
枝肉冷却時間		48時間	
輸出製品の種類		country specific requirements	
輸出プログラム以外の認定プログラム		無 ☒	
日本向け輸出プログラムの稼働体制		日毎	
月齢判別方法(対日輸出実績)	出生記録	無 ☒ (2005年12月~2006年1月の延べ頭数 80頭)	
	成熟度	無 ☒ ☐ (2005年12月15日~2006年1月20日の延べ頭数 975頭)	
		☐ 格付官総数1名(うち日本向けA40の証明資格のある者 1名)	
受入農場(出生記録による月齢確認可能)		対日プログラム認定 ☒ 独自(PVP/QSA)	
検査官	食肉検査官	人数	5
		配置	オンライン 4 オフライン 1
		獣医官	人数
FSISからのnon-compliance record 交付歴		2005年:BSE規制関係NR(無し)、その他のNR(46件 改善済み)	
		2006年:BSE規制関係NR(1件、改善済み)、その他のNR(26件)	
神経(CNS)症状牛の頭数		2005年(0頭)、2006年(0頭)	
歩行困難牛の頭数(受入時)		2005年(5頭、うちBSE検査頭数5)、2006年(4頭、うちBSE検査頭数4)	
歩行困難牛の頭数(生体検査後)		2006年(0頭)、2006年(0頭)	
レンダリング(付属施設がある場合)	業務の形態(FDAのチェックシートにおける分類を転記、複数選択可)		
	取扱品目*1	禁止原料	
		非禁止原料	
	原料の入手先*2		
	製品の販売先		
	輸送方法	原料*2	
		製品	
	交差汚染対策*3	製造設備	
		輸送容器	
	FDA等の査察	査察回数	☐ 2005年 回、 ☐ 2006年 回
結果		☐ 2005年 ☐ 2006年	

注:米側とのミーティングにおいて、施設が特定できる情報(名称、所在地、施設番号、責任者名等)は非公表との要請があった。

施設概要

従事者数	と畜	従事者数 676名(品質管理担当者数 9名)
(品質管理担当者数)	カット	従事者数 2044名(品質管理担当者数 59名)
	清掃等	従事者数 210名(品質管理担当者数 名)
シフト	と畜	2シフト/日(: ~ :)
(時間帯)	カット	2シフト/日(: ~ :)
	清掃等	1シフト/日(: ~ :)
操業日		6日/週
種類	去勢牛	約47%
	未經産牛	約53%
	経産牛	0%
輸入牛の搬入		無 ☒ 有 ☐ カナダ・2005年 3293頭/年 (うち日本向け 0頭(延べ頭数)) ・2006年 1204頭/年 (うち日本向け 0頭(延べ頭数))
		無 ☐ 有 ☒ メキシコ・2005年 頭/年 (うち日本向け 頭(延べ頭数)) ・2006年 頭/年 (うち日本向け 頭(延べ頭数))
		無 ☐ 有 ☒ その他第3清浄国・2005年 頭/年(うち日本向け 頭(延べ頭数)) ・2006年 頭/年 (うち日本向け 頭(延べ頭数))
他施設からの枝肉の搬入		無 ☒ 有 ☐
平均生体重量		585kg
平均枝肉重量		360kg
枝肉冷却時間		40-48時間
輸出製品の種類		
輸出プログラム以外の認定プログラム		無 有
日本向け輸出プログラムの稼働体制		専用 月毎 日毎 ライン毎 シフト制
月齢判別方法(対日輸出実績)	出生記録 ☒ 無 ☐ 有 (2005年12月~2006年1月の延べ頭数 頭)	
	成熟度 ☒ 無 ☐ 有 ☐ (2005年12月15日~2006年1月20日の延べ頭数 頭)	
	☐ 格付官総数 6名(うち日本向けA40の証明資格のある者 2名)	
受入農場(出生記録による月齢確認可能)		対日プログラム認定 独自(PVP/QSA)
検査官	食肉検査官	人数 29
		配置 オンライン 22 オフライン 7
	獣医官	人数 2
FSISからのnon-compliance record 交付歴		2005年:BSE規制関係NR(2件、改善済み)、その他のNR(129件、改善済み) 2006年:BSE規制関係NR(1件、改善済み)、その他のNR(58件、改善済み)
神経(CNS)症状牛の頭数		2005年(無し)、2006年(無し)
歩行困難牛の頭数(受入時)		2005年(頭数 27、うちBSE検査頭数 27)、2006年(頭数 27、うちBSE検査頭数 27)
歩行困難牛の頭数(生体検査後)		2005年(無し)、2006年(無し)
レンダリング(付属施設がある場合)	業務の形態(FDAのチェックシートにおける分類を転記、複数選択可)	
	① レンダー ② プロテイン・レンダー ③ トランスポーター ④ その他()	
	取扱品目*1	禁止原料 肉骨粉、ロープロテインミール、ゼラチン用骨
		非禁止原料 血粉、血漿、可食物、タロー
	原料の入手先*2	
	NA	
	製品の販売先	
	輸送方法	原料*2 NA
		製品 トラック、鉄道
交差汚染対策*3	製造設備	禁止及び除外原料を分けて運搬
	輸送容器	禁止及び除外原料を独立積載
	査察回数	☐ 2005年 回、 ☐ 2006年 回 不定期の非通告立ち入り
FDA等の査察	結果	
	適合	

注:米側とのミーティングにおいて、施設が特定できる情報(名称、所在地、施設番号、責任者名等)は非公表との要請があった。

施設概要

従事者数	と畜	(品質管理担当者数18名)
(品質管理担当者数)	カット	(品質管理担当者数40名)
	清掃等	(品質管理担当者数1名)
シフト	と畜	2(8時間)シフト/日
(時間帯)	カット	2(8時間)シフト/日
	清掃等	1(7時間)シフト/日
操業日	4月～9月 6日/週、10月～3月 5日/週	
種類	去勢牛	52%
	未経産牛	48%
	経産牛	0%
輸入牛の搬入	無	☒ カナダ・2005年 約500頭/年 (うち日本向け 頭(延べ頭数)) ・2006年 約500頭/年 (うち日本向け 頭(延べ頭数))
	☒ 有	☐ メキシコ・2005年 頭/年(うち日本向け 頭(延べ頭数)) ・2006年 頭/年 (うち日本向け 頭(延べ頭数))
	☒ 有	☐ その他第3清浄国・2005年 頭/年(うち日本向け 頭(延べ頭数)) ・2006年 頭/年 (うち日本向け 頭(延べ頭数))
	無	
他施設からの枝肉の搬入	☒ 有	
平均生体重量	585kg	
平均枝肉重量	382.5kg	
枝肉冷却時間	平均39時間	
輸出製品の種類	箱詰め肉/内臓	
輸出プログラム以外の認定プログラム	無 有	
日本向け輸出プログラムの稼働体制	専用 月毎 日毎 ライン毎 ☒ シフト制(シフトの開始時)	
月齢判別方法(対日輸出実績)	出生記録 無 ☒ 有 (2005年12月～2006年1月の延べ頭数 頭)	
	成熟度 無 ☒ 有 ☐ (2005年12月15日～2006年1月20日 100頭/日)	
	☐ 格付官総数 6名(うち日本向けA40の証明資格のある者 6名)	
受入農場(出生記録による月齢確認可能)	対日プログラム認定 ☒ 独自(PVP/QSA)	
検査官	食肉検査官	人数 27
		配置 オンライン 22 オフライン 5
	獣医官	人数 3
FSISからのnon-compliance record 交付歴	2005年:BSE規制関係NR(4件、改善済み)、その他のNR(94件、改善済み) 2006年:BSE規制関係NR(無し)、その他のNR(37件、改善済み)	
神経(CNS)症状牛の頭数	2005年(0頭)、2006年(0頭)	
歩行困難牛の頭数(受入時)	2005年(60頭、うちBSE検査頭数 60頭)、2006年(24頭、うちBSE検査頭数 24頭)	
歩行困難牛の頭数(生体検査後)		
レンダリング(付属施設がある場合)	業務の形態(FDAのチェックシートにおける分類を転記、複数選択可)	
	① レンダラー ② プロテイン・ブレNDER ③ トランスポーター ④ その他()	
	取扱い品目*1	禁止原料
		非禁止原料
	SRM製品	
	原料の入手先*2	タロー(食用、非食用)、血粉
	製品の販売先	
	ペットフード加工業者、フィルム業者、石けん業者	
	輸送方法	原料*2
		製品
トラック、鉄道		
交差汚染対策*3	製造設備	禁止・排除製品は分離する。
	輸送容器	調査と清掃
FDA等の査察	査察回数	年に4回
	結果	☐ 2005年 遵守していた ☐ 2006年

注:米側とのミーティングにおいて、施設が特定できる情報(名称、所在地、施設番号、責任者名等)は非公表との要請があった。

施設概要

従事者数	と畜	従事者数 700名(品質管理担当者数 26名)
(品質管理担当者数)	カット	従事者数 1570名 (品質管理担当者数 48名)
	清掃等	従事者数 225名(品質管理担当者数 名) 契約清掃員
シフト	と畜	2シフト/日 第1シフト(6:00~14:30) 第2シフト(15:15~23:30)
(時間帯)	カット	2シフト/日 第1シフト(6:00~14:30) 第2シフト (15:15~23:30)
	清掃等	シフト/日 (0:00~5:30)
操業日		5-6日/週
種類	去勢牛	有り
	未經産牛	有り
	経産牛	無し
輸入牛の搬入		無 ☒ 有 ☐ カナダ・2005年 19675頭/年 (うち日本向け 38頭(延べ頭数)) ・2006年 18952頭/年 (うち日本向け 107頭(延べ頭数)) 無 ☐ 有 ☒ メキシコ・2005年 頭/年 (うち日本向け 頭(延べ頭数)) ・2006年 頭/年 (うち日本向け 頭(延べ頭数)) 無 ☐ 有 ☒ その他第3清浄国・2005年 頭/年(うち日本向け 頭(延べ頭数)) ・2006年 頭/年 (うち日本向け 頭(延べ頭数))
他施設からの枝肉の搬入		無 ☒ 有 ☐
平均生体重量		585kg
平均枝肉重量		351kg
枝肉冷却時間		36時間
輸出製品の種類		骨無し牛肉、骨付き牛肉、内臓
輸出プログラム以外の認定プログラム		☐
日本向け輸出プログラムの稼働体制		専用 月毎 日毎 ライン毎 ☒ フット制
月齢判別方法(対日輸出実績)		出生記録 無 ☐ 有 ☒ (2005年12月~2006年1月の延べ頭数 1107頭) 成熟度 無 ☐ 有 ☒ (2005年12月15日~2006年1月20日の延べ頭数 2517頭) 口格付官総数 6名(うち日本向けA40の証明資格のある者 6名)
受入農場(出生記録による月齢確認可能)		☒ 対日プログラム認定 独自(PVP/QSA)
検査官	食肉検査官	人数 30
		配置 オンライン 26 オフライン 4
	獣医官	人数 3
FSISからのnon-compliance record 交付歴		2005年:BSE規制関係NR(1件、改善済み)、その他のNR(116件、113件改善済み) 2006年:BSE規制関係NR(無し)、その他のNR(56件、49件改善済み)
神経(CNS)症状牛の頭数		2005年(頭数0、うちBSE検査頭数0)、2006年(頭数0、うちBSE検査頭数0)
歩行困難牛の頭数(受入時)		2005年(頭数98、うちBSE検査頭数98)、2006年(頭数50、うちBSE検査頭数50)
歩行困難牛の頭数(生体検査後)		
業務の形態(FDAのチェックシートにおける分類を転記、複数選択可)		① レンダー ② プロテイン・レンダー ③ トランスポーター ④ その他()
取扱い品目*1	禁止原料	付属のUSDA認定施設からのすべての原料
	非禁止原料	付属のUSDA認定施設からのすべての原料
原料の入手先*2		N/A
製品の販売先		タロー、蛋白ユーザー
輸送方法	原料*2	N/A
	製品	トラック、鉄道、コンテナ
交差汚染対策*3	製造設備	分別されたライン
	輸送容器	分別されたライン
FDA等の査察	査察回数	☐ 2005年 回、 ☐ 2006年 回 半年毎
	結果	適合

注:米側とのミーティングにおいて、施設が特定できる情報(名称、所在地、施設番号、責任者名等)は非公表との要請があった。

施設概要

従事者数	と畜	従事者数 350名(品質管理担当者数 名)
(品質管理担当者数)	カット	従事者数 620名(品質管理担当者数 名)
	清掃等	従事者数 60名(品質管理担当者数 名)
シフト	と畜	1シフト/日 (7:00~15:30)
(時間帯)	カット	2シフト/日 (8:00~14:30)
	清掃等	シフト/日 Fab (15:00~22:00 & 22:00~5:00) Kih (16:30 ~22:00 & 22:00~6:00)
操業日		5日/週
種類	去勢牛	有り
	未經産牛	有り
	経産牛	無し
輸入牛の搬入		☒ 有 ☐ カナダ・2005年 頭/年 (うち日本向け 頭(延べ頭数)) ・2006年 頭/年 (うち日本向け 頭(延べ頭数)) ☐ 無 ☐ メキシコ・2005年 頭/年 (うち日本向け 頭(延べ頭数)) ・2006年 頭/年 (うち日本向け 頭(延べ頭数)) ☒ 有 ☐ その他第3清浄国・2005年 頭/年(うち日本向け 頭(延べ頭数)) ・2006年 頭/年 (うち日本向け 頭(延べ頭数))
他施設からの枝肉の搬入		☒ 有
平均生体重量		590kg
平均枝肉重量		372kg
枝肉冷却時間		24~36時間
輸出製品の種類		骨付き牛肉、骨無し牛肉、内臓
輸出プログラム以外の認定プログラム		無 ☒ 有
日本向け輸出プログラムの稼働体制		専用 月毎 日毎 ライン毎 ☒ フット制
月齢判別方法(対日輸出実績)		出生記録 ☒ 有 (2005年12月~2006年1月の延べ頭数 頭) 成熟度 ☐ 無 ☒ 有 ☐ (2005年12月15日~2006年1月20日の延べ頭数 2537頭) ☐ 格付官総数 2名(うち日本向けA40の証明資格のある者 2名)
受入農場 (出生記録による月齢確認可能)		対日プログラム認定 独自(PVP/QSA)
検査官	食肉検査官	人数 12
		配置 オンライン 10 オフライン 2
	獣医官	人数 2
FSISからのnon-compliance record 交付歴		2005年:BSE規制関係NR(2件、改善済み)、その他のNR(177件、改善済み) 2006年:BSE規制関係NR(4件、改善済み)、その他のNR(35件、改善済み)
神経(CNS)症状牛の頭数		2005年(頭数 0、うちBSE検査頭数 0)、2006年(頭数 0、うちBSE検査頭数 0)
歩行困難牛の頭数(受入時)		2005年(頭数 0、うちBSE検査頭数 0)、2006年(頭数 0、うちBSE検査頭数 0)
歩行困難牛の頭数(生体検査後)		2005年(頭数 0、うちBSE検査頭数 0)、2006年(頭数 0、うちBSE検査頭数 0)
レンダリング(付属施設がある場合)	業務の形態(FDAのチェックシートにおける分類を転記、複数選択可)	1 レンダー 2 プロテイン・ブレンダー 3 トランスポーター 4 その他()
	取扱い品目*1	禁止原料 非禁止原料
	原料の入手先*2	
	製品の販売先	
	輸送方法	原料*2 製品
	交差汚染対策*3	製造設備 輸送容器
	FDA等の査察	査察回数 ☐ 2005年 回、 ☐ 2006年 回 結果 ☐ 2005年 ☐ 2006年

注:米側とのミーティングにおいて、施設が特定できる情報(名称、所在地、施設番号、責任者名等)は非公表との要請があった。